

NIFS サテライト通信

第8号 平成22年11月29日

『産学連携セミナー特別レポート』（第1報／前半分）

鹿屋体育大学＝NIFS（National Institute of Fitness and Sports in Kanoya）の東京サテライトキャンパスにおいて、11月から、鹿屋体育大学スポーツ産学連携セミナー2010がスタートしました。全6回（11/5～1/7）の日程でセミナーを行います。これまでに前半の3回が終了しましたので、ご報告いたします。

#1 11/5『アディダスセミナー “Impossible is Nothing”』

アディダスセミナーは、adidas Japan から皆藤聡さん、鈴木敬介さん、adidas Greater China から南佳美さんの3名のスピーカーにお越しいただき、「日本と中国の戦略的マーケティングと求められる人材像」について、お話をいただきました。南さんからは、中国を中心としたアジア（中国、台湾、香港）でのマーケット戦略や今後の展望、中国市場の現状について、北京オリンピックをピークに大都市圏の消費者意識が変化していることや、内陸部に成長の波が及んできていることなど、興味深いお話を聞くことができました。

#2 11/19『ゴールドウィンセミナー “We provide Sportful LIFE”』

ゴールドウィンの前進は、株式会社津澤莫大小（メリヤス；伸縮性のある布）製造所で、その後、スポーツウェア専門メーカーとして、日本のスポーツを支えてきた企業です。アスレチックスタイル事業本部の山本雅弘さんをスピーカーに迎え、企業理念として「スポーツのある豊かな暮らしを築き上げること」を掲げ、約60年間蓄積した技術力と最高品質を持ち、絶えず自己革新を続ける「スポーツのある生活を通じて、心と身体の健康を提供する企業」として、ゴールドウィンが求める人材像を伺うことができました。

#3 11/26『ドームセミナー “スポーツを通じて、社会を豊かに”』

ドームセミナーでは、“スポーツを通じて、社会を豊かに ～その想いの実現に向けて～”をテーマに、常務取締役兼営業本部長である中村昌弘さんからお話をいただきました。中村さんは、「なぜ、働くのか？」という現実に近い内容から、ドームが抱えている「アスリートを進化させる」という大きな夢についてお話をされました。参加者の学生から、求める人材像について質問された中村さんは、ドームの企業理念を受け入れる「素直さ」と「情熱」と回答し、目の輝きでその思いを感じることができると。企業人としての使命感を持ち、それを果たす役割の大切さを痛感しました。

今後のスポーツ産学連携セミナーは下記のとおり開催されますが、すでに全てのセミナーが定員を満たしているため、申込み受付は終了いたしました。多数のお申し込みありがとうございました。

第4回 12/10(金)ゼット・セミナー、第5回 12/17(金)デサント・セミナー、第6回 1/7(金)ナイキ・セミナー
セミナーの詳細は、本学ホームページ http://www.nifs-k.ac.jp/outline/tokyo_satellite_campus/ から確認することができます。

12月の主な行事予定

12月10, 17日（金） 産学連携セミナー
12月18日（土） 貯筋測定会
12月29日（水）～1月3日（月） 年末年始休業日

編集後記

季節の移り変わりは早いもので、もう師走目前。怒濤の11月を終え、あっという間に今年も終わりそうです。

通信スタッフ 津々木

国立大学法人鹿屋体育大学東京サテライトキャンパス（津々木、成田）
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目15-9 SWTビル5階
TEL 03-5840-9428 FAX03-5840-9429 E-mail satellite@nifs-k.ac.jp

〔開所時間〕 平日 9時00分～18時00分

ご質問、ご要望等ございましたら、
お気軽にお問い合わせください。